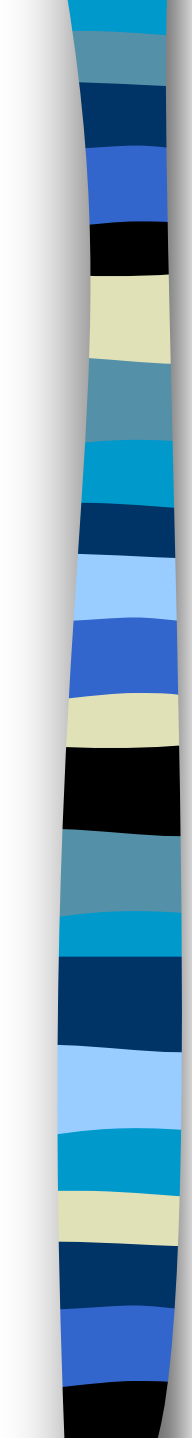


AJF「NGOから学ぶ！アフリカで活動するNGOのマネージメント」

2国目での事業展開の経緯 ーケニアからウガンダへー

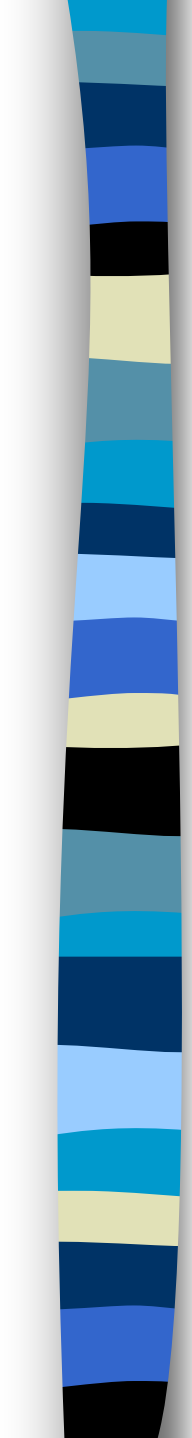


東アフリカの子供を救う会
(アルディナウペポ)
運営委員 岩井雪乃



アルディナウペポの活動方針

- 支援対象：東アフリカの子どもたち
- 支援内容：
 - ①住居（眠る場所）の提供と給食
→現在の生存に欠かせない
 - ②自立のための職業訓練
→子どもたちが独力で生きていけるように



これまでの活動概要

- 1994－2003年
ダゴレッティ・チルドレンズ・センター(ケニア)
宿舎建設、給食、職業訓練(ビーズアクセサリー、グリーティングカードの作成技術およびマーケティングの指導)、農業指導
- 2002年～
サイディアフラハ(ケニア)
給食、職業訓練所建設、運営支援
- 2003－2005年
ラッキーアカデミー(ケニア・ギダリマリグ地区)
給食、識字教室
- 2004年～
テオコノ・センター(ウガンダ・グル)
ナイトコンピューターの宿泊所建設・運営、職業訓練所を建設中

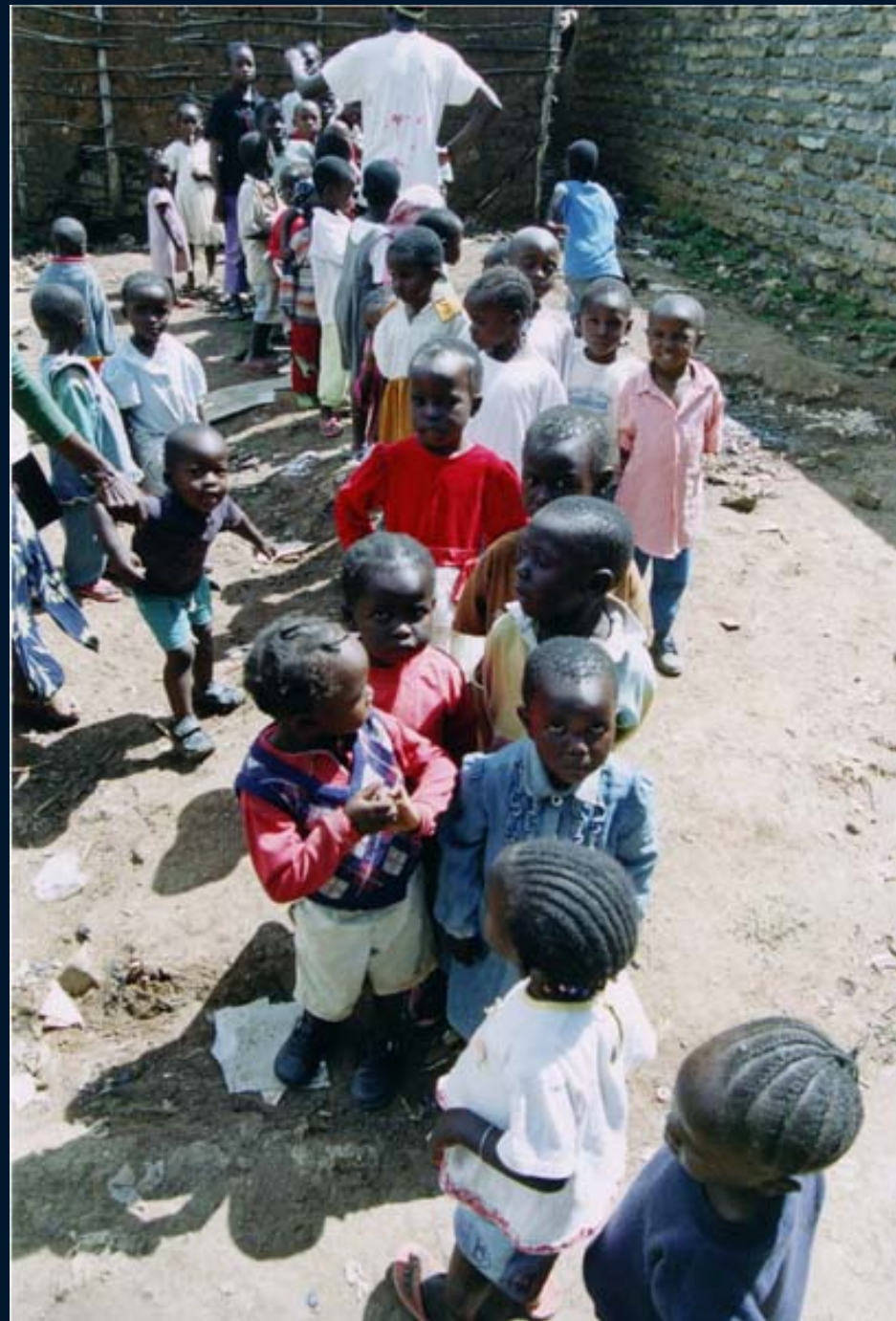
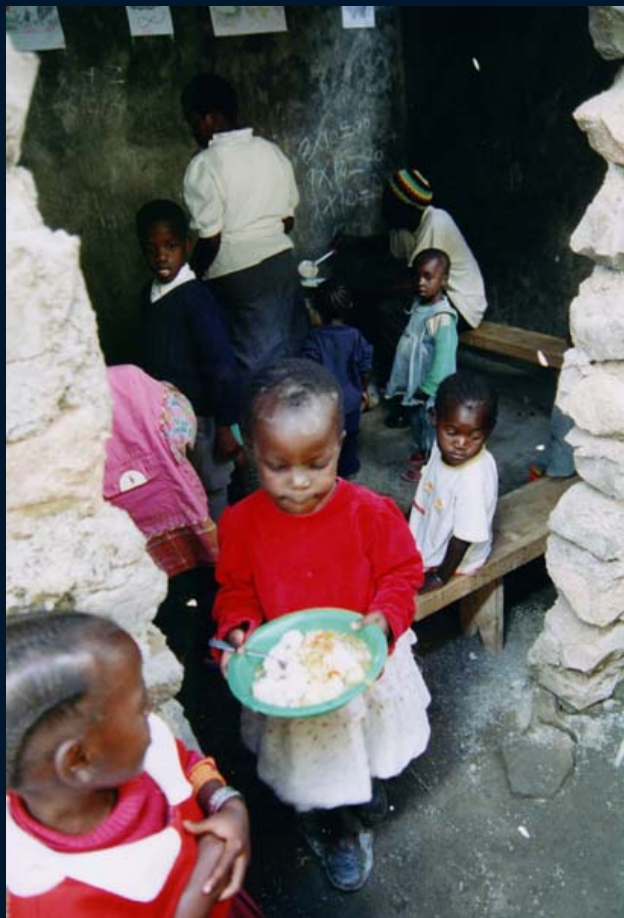
ダゴレッティでの活動

宿舎建設
給食
職業訓練



ラッキーアカデミー

給食
識字教室



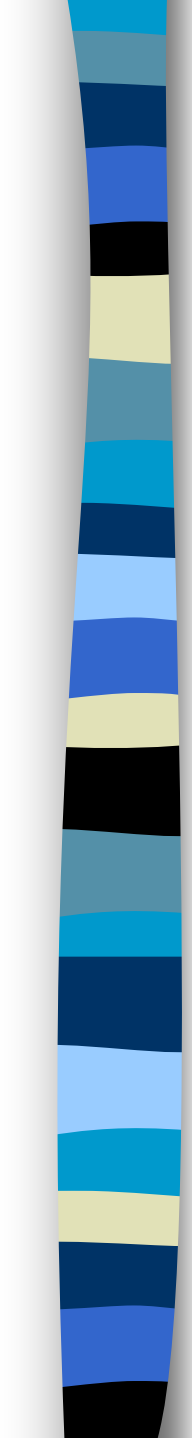
テオコノ・センター (ウガンダ)





現地でのスタッフ

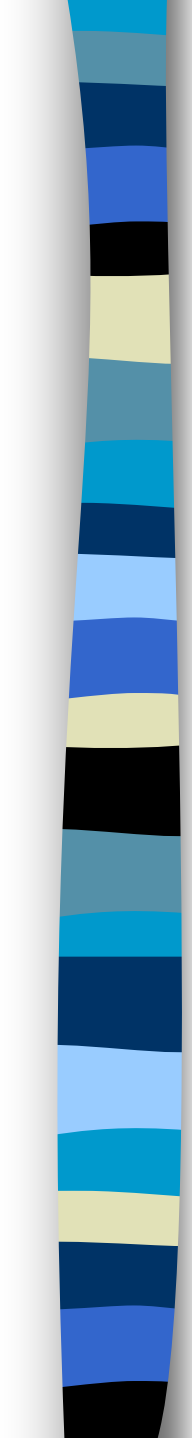




ダゴレッティ支援終了の経緯

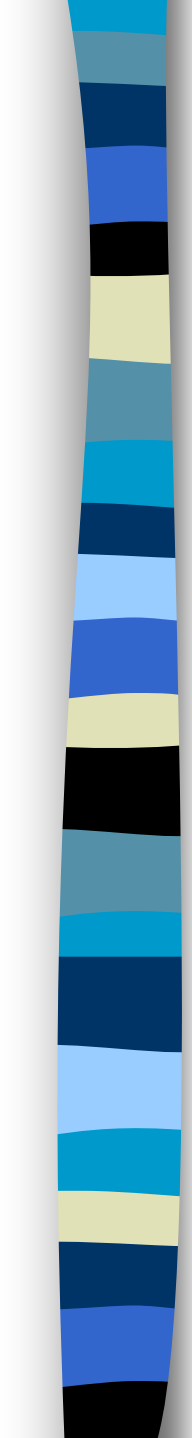
- 2001年ごろから
Feed The Children (FTC)が、センターの運営に全面的に乗り出す。白人のマネージャーになり、資金・運営ともに充実。
- 2002年
職業訓練所の運営が軌道にのる
作成された製品の販路も確保できるように
- 2003年5月
支援終了

→より危機的な状況で緊急に支援を必要としてる子供たちを支援したい



ウガンダ・グル支援開始の経緯

- 2003年
- ナイロビで朝日新聞駐在員の方からグルの危機的状況と支援の必要性を知らされる
- 桜木奈央子さんとの出会い
- 桜木さんからグルの青年によるNGO・UYAPを紹介してもらう

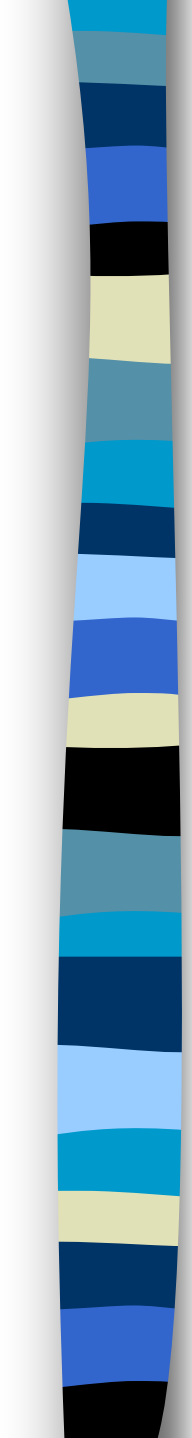


二カ国目において一カ国目の経験が 生かされた点

- 宿舎や教室の建設
- 現地協力者との関係の持ち方
- 職業訓練所の運営の仕方

→ 基本的な活動内容は変わらない。蓄積した経験を生かせる場合が多い。

→ ウガンダのほうが協力者とのよい関係を作りやすい。



うまく二国目に展開できた要因

- よい現地協力者を見つける、確保する